



平成29年度亀山市当初予算案について

平成29年度当初予算は、第2次総合計画前期基本計画の初年度として、基本構想における将来都市像の実現に向けた事業に積極的に取り組むとともに、併せて、本市への移住・定住の促進を図るなど地方創生関連事業を実施する予算としました。

一般会計当初予算は、210億6,400万円で、前年度比2億4,800万円、率にして1.2%の増としました。

歳入につきましては、市税は法人市民税の減により、前年度比3,530万円、率にして0.3%減の102億310万円を計上しました。また、地方交付税は、合併算定替の段階的縮減がされたものの、市税及び地方消費税交付金の減により基準財政収入額が減額となったことから、普通交付税額が増加したため前年度比9,100万円、率にして6.4%増の15億1,000万円を計上しました。

一方、歳出については、継続して実施します川崎小学校改築事業や野村布気線整備事業のほか、新たに着手します亀山駅周辺整備事業や学校の普通教室等への空調機整備事業などのハード事業、また、放課後児童の居場所づくりを行う放課後児童クラブ事業や地域予算制度の創設により拡充された地域まちづくり支援事業などのソフト事業を実施していきます。

また、新たに見直した平成29年度から平成33年度までの中期財政見直しにおいては、市税収入の緩やかな減少傾向が今後も続くと考えられることから、第2次行財政改革大綱及び前期実施計画に掲げた取り組みを着実に進め、健全な財政運営を確保していきます。